

# 栃木県が目指すユニバーサル農業

## ～食と農の多様な効用の促進～

ユニバーサル農業について、  
下都賀農業振興事務所に  
伺いました



栃木県では障がい者等の農業分野における就労機会の拡大を進めています。具体的には、生産現場でのバリアフリー化や安全確保のための作業環境の改善、実践農場の見学会、農業者と福祉施設を結びつけるマッチング事業、農作業を試行的に体験できるインターンシップなどの制度により推進を図っています。下都賀地方は県内でも取組が進んでいる地域です。

ユニバーサル農業とは、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、誰もが参加したり実践できる「農」の取組を指します。「農」は癒しやリハビリテーション等につながる福祉力を持っているため、農業分野と福祉分野の連携が期待されています。

■ 問合せ先 栃木県下都賀農業振興事務所 企画振興室 ☎ 0282-23-3425

### 下野市の ユニバーサル 農業への 補助制度

- ◆ 内容 障害者等の農作業における衛生、安全、作業性の確保のための施設等の整備に要する経費の補助
- ◆ 補助率 整備費の 1/2 以内 上限 25 万円
- ◆ 対象 生産者または営農集団等生産組織及び生産部会
- ◆ 問合せ先 下野市農政課 ☎0285-32-8906

下野市は平成30年度からユニバーサル農業への補助制度を始めたよ。これからも利用が増えるといいわね。



### 取組の目

## 令和元年度共生社会とちぎづくり表彰

～本市2社が受賞～

栃木県では障害の有無に関わらず誰もが共に支え合う社会の実現のため、障害者差別解消推進条例第10条に基づき、県民の模範となる取組を行ったと認められる事業者を表彰しています。今年度、本市では、次の2社が受賞しました。

共生社会とちぎづくり表彰は、平成29年度からはじまったよ。



### 1 障がい者差別解消部門

#### 一般社団法人 Bridge

**受賞理由** 共生社会への理念について普及啓発に貢献したため。障害の有無にかかわらず、誰でも参加出来るコミュニティスペースを整備し、それを活用し芸術祭やトークショーを開催した。

### 2 障がい者の工賃向上部門

#### 有限会社せきぐち

**受賞理由** 障がい者施設の受注機会の確保や工賃向上に貢献したため。委託先の作業能力を考慮し、菓子箱折りの業務を通年発注。

■ 問合せ先 栃木県障害福祉課 企画推進担当 ☎ 028-623-3491



### つながッテルね! 条例15条

### (事業者の権利及び責務)

第15条 事業者は、地域社会を構成する一員として、社会的責任を認識し、自然環境及び市民生活に配慮した事業活動を推進するとともに、公益的な活動への積極的な参加及び地域社会づくりに寄与するものとする。